

# 長谷川博文の活動報告 2024年春号

こんにちは はせがわ博文です  
 昨年4月の選挙で当選させて頂き、市議会議員としての活動が  
 スタートしました  
 6月・9月・12月議会において、選挙の公約に掲げた内容について  
 一般質問させて頂きました  
 (詳細は貝塚市議会HPに掲載されております)



議員の仕事ってなんだろう？

- 昭和の成長期は地域の要望に対応する地域代表
- 平成の停滞期は試行錯誤の混迷状態
- 令和の人口減少期は**将来(少なくとも20年先)のビジョンを  
持った提案を出来る人材**でなくてはいけない！

そんな風に私は捉えています

議員になって、市政の仕組みや出来ること出来ないこと、  
 職員の皆さんの抱えるジレンマなど、色々と知る事が出来ました  
 結論として、自分の立候補した理由が間違っていなかったと  
 再認識しています それは

貝塚市が持っている財産・魅力を掘り起こし、  
 引き出して、発信・活用することで賑わいを創っていく！



そのキーワードが

「**都会と田舎の真ん中 となか**」

今、生きている誰もが未経験の状況「**人口が減少する**」が加速度的に進んでいます

### 『素朴な疑問』

- 人口が減るのに農地を宅地にしてどうするの？
  - 宅地が増えたら道路・水道などのインフラが増える→貝塚市が管理(税金)
  - 空き家が増えて問題になっているのだから、その土地を活用したら良いのでは？
- 「この道路を修理してよ!!」「もっとこうしたサービスを」という市民の要望を実現するのが  
 難しくなる時代がすぐ先に迫っています

理由は単純明快です

税金を納める「生産人口」が減り、「サービスを受ける」高齢化率が上がるからです

**では、どうすれば？**

(プロフィール)

はせがわ博文 公式ホームページ  
 (hasegawa-hiro.sakura.ne.jp)

昭和46年2月13日生 53歳 貝塚市澤出身在住  
 妻 長男(21歳) 次男(19歳) 長女(17歳) 両親の7人家族  
 二色幼稚園・西小学校・第一中学校・近畿大学付属和歌山高校・近畿大学農学部卒業後  
 薬品会社研究開発部(三重県)に5年間勤務して就農し、長谷川農園を運営している  
 地元消防団活動にも24年以上従事している 防災士 西校区福祉委員

# はせがわ博文が進める取り組み

## ①農地の有効利用による賑わいの創出とブランド戦略

農業振興県は農業に対する補助金が沢山あります 大阪府は皆無 でも、貝塚市には田畑があって、頑張っている若手農家さんがいる なぜ？  
やり方次第で儲かる農業が出来るという事です と言っても、みなさんすごく大変努力されています 頑張っている農家さんを応援すれば、自ずと生産性が上がる（→ 農地の利用が増える）  
売上・雇用もアップする

まず今年は「ふるさと納税」「野菜の収穫体験」に挑戦する生産者さんをサポートをします  
→販売・収穫体験の増加 → 生産者😊  
→ふるさと納税の増加（令和4年度農産物での納税額の2割を目標設定） → 貝塚市😊

今後の目標は

貝塚市では、果樹（いちご、ブドウ、みかん、イチジク、ブルーベリーなど）  
野菜（トウモロコシ、枝豆、水ナス、菊菜、トマトなど）  
の収穫体験が1年通していつでもできる  
という体制を皆さんと作っていきたいと考えています

私が農家だからではなく、今こそ1次産業に力を入れて産業構造を変えるべき時期だと考え、農家から議員を志しました



## ②和泉葛城山を中心とした山手地域のブランド化

和泉葛城山山頂には日本遺産「葛城修験」の役行者「経塚」があります  
又、東大寺を造立した行基ゆかりの「釘無堂」「水間寺」「永寿池」  
など山手地域には存在しています

歴史文化と豊かな自然環境があります ソフト・ハード両面でストーリーを持って整備することで、大きな価値と付随効果を出していけると確信しています

夏頃には取り組みの報告が出来ると思います

この2つの取組みには地域の皆さん（特に子育て世代や高齢者の方）の雇用が必要不可欠です  
1日2・3時間の農作業や自宅でイベントのチラシ作成などの短時間の労働を手伝っていただきたい  
と思います またこれは多種多様な人が社会と繋がるチャンスになってもらえればとも考えています

酒井市長も新年のあいさつで「共創（きょうそう）co-creation」をテーマに挙げておられました  
市民の皆さんが「こうやったら良くなる」地域の課題に関心を持ってもらうことが大切だと思います

## ③地域防災の充実

元日に「令和6年能登半島地震」が発生しました。犠牲になられた方のご冥福を祈念すると同時に早期の復興を期待いたします  
貝塚市においても「地域防災計画」が策定されていますが、行政の取り決め「公助」の部分が大半です 能登半島地震でも災害発生直後は、「自助」「共助」が全てだったと思います しかしながら、その部分の取組みが全く出来ていません 「人命第一主義」での仕組み作りを提案していきます

我々維新の市議6人  
「今、出来ることを！」  
として  
「カップ麺1500食」  
「災害用トイレ500個」  
を彦根にあるNPO法人  
に寄付しました

- 南海二色浜駅周辺の府道の工事が進んでいます 旧国道までの区間で両側に幅2mの歩道が整備される予定です（令和6年度末までに）
- 二色浜駅山手に改札口が新設されます
- 駅前にバスロータリーを作る計画ですが、詳細は公表されていません  
利用する市民にとって利便性に良い整備になるように私も注視していきます
- 二色の浜公園の駐車場料金も時間制に見直されます（最大640円に）  
今夏には綺麗で安全な海を保証する国際認証制度「ブルービーチ」の認証取得予定です

